



PPST ニュースレター 第 26 号

Feb 2025

発行: 一般社団法人 社会復帰・社会参加のための薬物・心理社会的治療(PPST)研究会
事務局: (株)コンベンションリンケージ内 PPST 研究会事務局 ppst@c-lincage.co.jp Fax 03-3263-8687

<今回の記事の内容>

I. ごあいさつ	2025年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
会長 丹羽 真一、副会長 林 道彦、常務理事 安西 信雄		
II. PPST全国セミナー「統合失調症患者さんの地域生活を支える～訪問サービスによる支援を中心に」	(2024年10月19日オンライン開催) の講演のポイントとキースライドご紹介	
講演1	精神科医療・看護の均てん化の為にー青森県八戸市のICT活用事例ー・・・・・・・・	6
種市 和人 先生 (医療法人財団青仁会訪問看護・介護ステーション 五福 所長)		
講演2	多機能型精神科診療所の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
長谷川 直実 先生 (医療法人社団ほっとステーション 大通り公園メンタルクリニック 院長)		
III. あとがき／賛助会員のご案内	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14

I. ごあいさつ

2025 年を迎えて

会長 丹羽 真一
副会長 林 道彦
常務理事 安西 信雄

2025 年は平穏な年明けとなりました。皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。能登半島地震で被災され避難されている皆様、被災された地域の皆様には、早い復旧と復興をお祈り申し上げます。また、本年も PPST 研究会の事業にご理解とご支援をお願い申し上げます。

PPST 研究会の事業はブロックセミナーを東日本、西日本でそれぞれ年 1 回ずつ大塚製薬様との共催で開催、全国セミナーを住友ファーマ様との共催で開催として参っております。2024 年度～2025 年度につきましても、西日本については中国ブロックの幹事の先生方の御尽力により、東日本については関東ブロック幹事の先生方の、それぞれ 2024 年 5 月 17 日と 7 月 5 日にブロックセミナーが開催されました。全国セミナーは 10 月 19 日に開催されました。いずれもオンラインで成功裏に開催できました。また、7 月 24 日の日本精神科病院協会精神科医学会におきましてスポンサード・シンポジウムの形で大塚製薬様と共催のシンポジウムが行われました。統合失調症学会における PPST 研究会は学会主催者の開催ポリシーにより企業との共催のプログラムは行わないということでした。また、ニュースレター No. 25 の定期発行と、賛助会員への PPST Bulletin No. 6 の刊行も行われました。これらの事業にご理解とご協力を頂いております参加者の皆様、全国ブロック幹事の先生方に

御礼を申し上げます。

本 PPST 研究会ニューズレター第 26 号では、2024 年 10 月に行われました全国セミナーでの講演のポイントをご紹介する記事を掲載いたします。その内容を以下に簡単にご紹介いたします。

=====

日 時：2024 年 10 月 19 日（土）19:00～20:30

場 所：住友ファーマ東京本社メディアスタジオ

テーマ：統合失調症患者さんの地域生活を支える～訪問サービスによる支援を中心に

講演 1： これからの地域精神医療と看護

座長：杉山 直也 先生（公益財団法人 復康会 沼津中央病院 院長）

演者：種市 和人 先生（医療法人財団青仁会青南病院 訪問看護・介護ステーション五福所長）

精神障害を持つ者も、(今は)持たない者も、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現が望まれる今日、精神科医療・看護の「均てん化」は最重要課題の一つであると考えられる。当事業所が位置する青森県八戸市では「connect8(コネクト8)」と呼ばれる ICT を活用した支援体制が整備されている。こうした ICT の活用及び近年急速に進む医療 AI の活用は、精神科医療・看護の均てん化に多大な役割を果たすであろう。これからの精神科医療と看護の在り方について考察した。

講演 2： 多機能型精神科診療所の取り組み

座長：安西 信雄 先生（帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科 教授）

演者：長谷川 直実 先生（医療法人社団ほっとステーション 大通り公園メンタルクリニック 院長）

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の中、現在かかりつけ精神科医としての役割は多岐にわたり、これまで以上に多職種、関係機関と連携しながら、患者さんが希望する地域生活を実現できるよう診療にあたることが求められている。わたしたち「ほっとステーション」における危機介入と地域連携について、また実践を通して見えてきた地域精神科医療の課題についても皆様と考えてみた。

2025 年度（2024 年 8 月～2025 年 7 月）もブロックセミナーと日本精神科病院協会精神科医学会におけるスポンサードセミナー（シンポジウム）を大塚製薬様と共催で開催いたします。また、2026 年度の全国セミナーにつきましては準備の都合によりまして開催しないことと致します。

2023 年からは PPST 研究会を日本精神神経学会の生涯教育ポイント取得対象団体として認定頂けるようになりました。ポイント取得団体（C 群）として認定されておりますので改めてご確認願います。

ブロックセミナーにつきましては、東日本につきましては北海道⇒東北⇒関東⇒甲信越⇒東海の順で、西日本につきましては北陸⇒近畿⇒中国⇒四国⇒九州・沖縄の順で企画を頂くことになっておりますので、2025 年には東日本セミナーを甲信越ブロック幹事の先生方に企画頂き、西日本セ

ミナーを四国ブロック幹事の先生方に企画頂きます。東日本、西日本と分けてはありますが、いずれもオンライン開催ですので、全国どこからでも参加可能です。ぜひ、多くの先生方のご視聴をお願い申し上げます。

2025 年度（2024 年 8 月～2025 年 7 月末）のブロックセミナーは次のように開催予定です。

=====

2025 年度の東日本セミナーは 2025 年 5 月 16 日に次の内容で開催されます。オンライン参加となります。

第 4 回 東日本セミナーPPST 研究会

【日 時】2025. 5. 16 金 19 : 00～20 : 50

【会 場】オンライン会議室

【参加費】1,000 円

【テーマ】精神科救急とうつ病治療におけるパーソナルリカバリーと地域生活支援

講演 1 19 : 05～ 精神科地域包括ケア病棟新設を含めた病院改革

座長：宮田量治先生（地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院 院長）

演者：藤田潔先生（医療法人静心会 桶狭間病院藤田こころケアセンター 理事長）

講演 2 19 : 35～ うつ病のリカバリーと地域定着支援について

座長：遠藤謙二先生（医療法人友愛会千曲荘病院 理事長・院長）

演者：後藤雅博先生（社会医療法人崇徳会こころのクリニックウィズ 所長）

演者：川崎智弘先生（社会医療法人崇徳会こころのクリニックウィズ 作業療法士 主任）

講演 3 20:15～ ブレクスピプラゾールによるうつ病治療の新たな一手

－ 5 つの受容体に対する働きを検討する －

座長：田宮崇先生（医療法人崇徳会 田宮病院 理事長）

演者：上田均先生（医療法人ひまわり もりおか心のクリニック 院長）

ご登録方法

オンラインセミナーには Zoom ウェビナーを使用いたします。

ご参加にあたり、参加費 1,000 円をお預かりしております。ご登録の際は下記 URL からアクセス頂き、必要事項をご記入頂きますよう、お願いいたします。単位申請をされる方は会員番号をご準備ください。

登録 URL : https://otsuka-jp.zoom.us/webinar/register/WN_1M8oAqXKQ2GssJn59_u7sA

ご登録後（銀行振り込みの先生はご入金確認後）、下記日程にて Zoom ウェビナー視聴 URL 並びにパスワードをご登録のメールアドレスにお送りいたします。当日はそちらからログイン頂き、ご視聴をお願いいたします。

領収書をご希望の方は登録サイト内「領収書希望」の項目で「有」を選択いただくと、ご登録後（銀行振り込みの先生はご入金確認後）自動返信メール内の URL から領収書をダウンロードいただけます。

①銀行口座振り込みにてご入金

※振込手数料は、参加者ご負担になりますので予めご了承ください。

登録締め切り : 2025 年 5 月 9 日（金）

お振込み締め切り : 2025 年 5 月 13 日（火）

※振込 1 週間以内に確認完了メールをお送りいたします。

視聴 URL 送付：2025 年 5 月 15 日（木）まで

②クレジットカード決済にてご入金

登録締め切り：2025 年 5 月 14 日（水）

視聴 URL 送付：2025 年 5 月 15 日（木）まで

③賛助会員・賛助会員施設からのご参加（5 名様まで無料）

登録締め切り：2025 年 5 月 14 日（水）

視聴 URL 送付：2025 年 5 月 15 日（木）まで

※賛助会員法人の先生方は、同一施設取りまとめでのご登録をお願いいたします。

参加登録後、ご視聴用のパスワードは各個人毎に発行し、後日参加者（代表）にまとめてお知らせいたします。同一施設より 6 名様以上ご参加頂ける場合、5 名様分を越える方は①②よりご登録頂きたく存じます。

【お問い合わせ先】 PPST 研究会東日本セミナー 運営事務局 E-mail：ppst-sec@c-linkage.co.jp

=====

2025 年度の西日本セミナーは 2025 年 6 月 6 日に次の内容で開催されます。オンライン参加となります。

第 4 回 西日本セミナーPPST 研究会

【日 時】2025. 6. 6 金 19:00～20:50

【会 場】オンライン会議室

【参加費】1,000 円

【テーマ】認知症診療における“地域連携”“診断と治療”について情報を共有する

講演 1 19:05～ 高知県認知症疾患医療センターでの診断後支援の取り組み

座長：沼田周助先生（徳島大学病院精神科神経科 教授）

演者：田内佐妃先生（高知県基幹型認知症疾患医療センター看護師）

講演 2 19:40～ アルツハイマー型認知症の新たな選択肢

～本邦唯一の適応を取得したレキサルティ BRIDGE 紹介～

座長：上野修一先生（愛媛大学 精神神経科学講座 教授）

演者：中村 祐先生（香川大学医学部 精神神経医学講座 教授）

講演 3 20:15～ 認知症ケア支援 VR を活用した当院の取り組み

座長：渡邊朋之先生（医療法人社団以和貴会いわき病院 院長）

演者：海野 順先生（医療法人社団光風会 三光病院 理事長）

ご登録方法

オンラインセミナーには Zoom ウェビナーを使用いたします。

ご参加にあたり、参加費 1,000 円をお預かりしております。ご登録の際は下記 URL からアクセス頂き、必要事項をご記入頂きますよう、お願いいたします。単位申請をされる方は会員番号をご準備ください。

登録 URL：https://otsuka-jp.zoom.us/webinar/register/WN_rTPs-KKKSby8Tb1h-GY-hw

ご登録後（銀行振り込みの先生はご入金確認後）、下記日程にて Zoom ウェビナー視聴 URL 並びにパスワードをご登録のメールアドレスにお送りいたします。当日はそこからログイン頂き、ご視聴をお願いいたします。

領収書をご希望の方は登録サイト内「領収書希望」の項目で「有」を選択いただくと、ご登録後（銀行振り込みの先生はご入金確認後）自動返信メール内の URL から領収書をダウンロードいただけます。

①銀行口座振り込みにてご入金

※振込手数料は、参加者ご負担になりますので予めご了承ください。

登録締め切り：2025 年 5 月 30 日（金）

お振込み締め切り：2025 年 6 月 3 日（火）

※振込 1 週間以内に確認完了メールをお送りいたします。

視聴 URL 送付：2025 年 6 月 5 日（木）まで

②クレジットカード決済にてご入金

登録締め切り：2025 年 6 月 4 日（水）

視聴 URL 送付：2025 年 6 月 5 日（木）まで

③賛助会員・賛助会員施設からのご参加（5 名様まで無料）

登録締め切り：2025 年 6 月 4 日（水）

視聴 URL 送付：2025 年 6 月 5 日（木）まで

※賛助会員法人の先生方は、同一施設取りまとめでのご登録をお願いいたします。

参加登録後、ご視聴用のパスワードは各個人毎に発行し、後日参加者（代表）にまとめてお知らせいたします。同一施設より 6 名様以上ご参加頂ける場合、5 名様分を越える方は①②よりご登録頂きたく存じます。

【お問い合わせ先】 PPST 研究会東日本セミナー 運営事務局 E-mail：ppst-sec@c-linkage.co.jp

PPST 研究会は賛助会員の会費により成り立っており、大塚製薬様、住友ファーマ様と共催する各種セミナーの開催費用とは別会計とさせていただいております。ですので、ニューズレターや PPST Bulletin の刊行を維持する費用は賛助会員が増えることで安定する仕組みとなっております。

2025 年も PPST 研究会の意義あるところをご理解いただき、多くの個人、団体が賛助会員となっていただけますようお願い申し上げます。

末尾ではございますが、PPST 研究会の活動理念を掲載いたします。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

PPST 研究会 活動の理念
当事者ならびに家族の希望に添い、さらには国の新しい精神障害者施策と協調して
1) 適切な薬物療法の使用とともに、世界的にも開発推奨されているもののみならず、適切と思われる心理社会的治療の発展をはかる
2) 当今、必要かつ効果があるといわれる当事者との治療上の合意（共同意志決定SDM）にもとづく診療の普及につとめる
3) これまでのわが国の精神科医療で必ずしも円滑であったとは云えない、必要かつ不可欠な多職種チーム医療のあり方の学習とその実現をはかる

Ⅱ. PPST 全国セミナー「統合失調症患者さんの地域生活を支える～訪問サービスによる支援を中心に」（2024 年 10 月 19 日オンライン開催）の講演のポイントとキースライドご紹介

講演 1

精神科医療・看護の均てん化の為にー青森県八戸市の ICT 活用事例ー

種市 和人 先生

（医療法人財団青仁会訪問看護・介護ステーション五福 所長）

精神障害を持つ者も、（今は）持たない者も、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現が望まれる今日、精神科医療・看護の「均てん化」は最重要課題の一つであると考えられる。当事業所が位置する青森県八戸市では「connect8(コネクト 8)」と呼ばれる ICT を活用した支援体制が整備されている。こうした ICT の活用及び近年急速に実装化が進む医療 AI の活用は、精神科医療・看護の均てん化に多大な役割を果たすであろう。これからの精神科医療と看護の在り方について考察する。

精神科訪問看護の誕生の背景には、精神障害者の当事者運動やリカバリー概念の誕生、「改革ビジョン」で示された「入院医療中心から地域生活中心」への転換から現在に至る歴史の流れがあると考えられる。「入院医療中心から地域生活中心へ」という転換以降、アウトリーチ型医療・看護活動の重要性が認識され、2012 年には診療報酬に「精神科訪問看護基本療養費」が新設された。

ー 精神科訪問看護の誕生 ー	
1990年台	米国内で精神障害者の当事者運動が盛んになる 「リカバリー」の概念が誕生
2000年頃	日本国内でも「リカバリー」の概念が普及
2004年	「入院医療中心から地域生活中心へ(精神保健医療福祉の改革ビジョン)」 精神科訪問看護などのアウトリーチ型サービスの重要性が認識
2012年	身体疾患とは別枠の「精神科訪問看護基本療養費」が新設
2017年	「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」

参考「精神科訪問看護テキスト-利用者と家族の地域生活を支えるために-」(中央法規, 2020)

精神科訪問看護は 3～10 回の入退院を繰り返す精神障がい者に導入されることが多い¹⁾。訪問看護師は、訪問看護サービス利用者(以下、利用者とする)が再入院をすることなく、住み慣れた地域で生活を続けられるよう、長期的な観点で計画的・継続的な看護援助を行っている。訪問看護ステーションの 58.6%では営業時間外の電話対応や緊急訪問を行っており¹⁾、こうした体制が整備されていることで精神障がいを持ちながら地域で生活をする方々は、24 時間 365 日、安心して生活を送ることができるが、一方で夜間帯の電話対応や緊急訪問は看護職者の身体的・心理

的負担になっているとも報告されている²⁾。

精神科訪問看護の開始

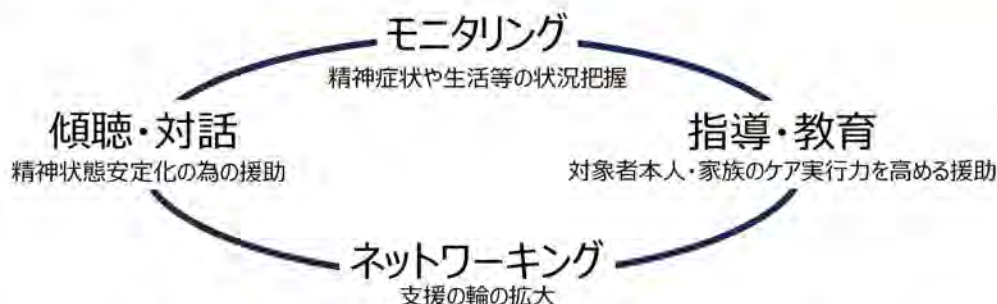
精神科訪問看護利用者の入院回数は「3～10回」が最多(43.3%)であり、入院なしは12.2%。GAF平均値は44.2であり、GAF40未満は35.4%。疾患別では統合失調症が最多(51.4%)。

「精神科訪問看護に係る実態及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける役割に関する調査研究」(2021, 日本精神科看護協会)より引用

精神科訪問看護開始までの流れ



精神科訪問看護の援助内容



対象者が「訪問看護を利用せずとも地域生活を続けられる状態」になることが目標。この目標を対象者と共有し、協働していく。

緊急時・夜間対応

訪問看護ステーションの58.6%では「24時間対応体制加算」を届出しており、営業時間外の電話対応を行っている。時間外電話の平均件数は44.3件/月。緊急訪問の平均件数は79.0件/月(精神科訪問看護緊急時訪問看護加算の算定数)。

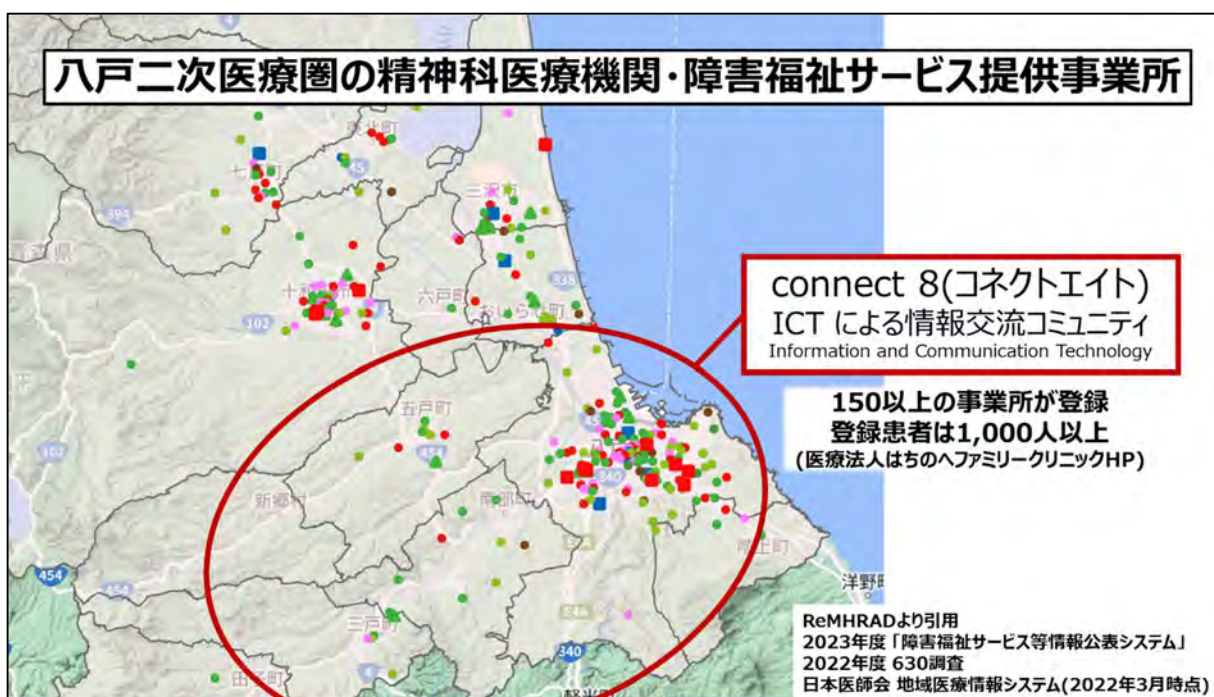
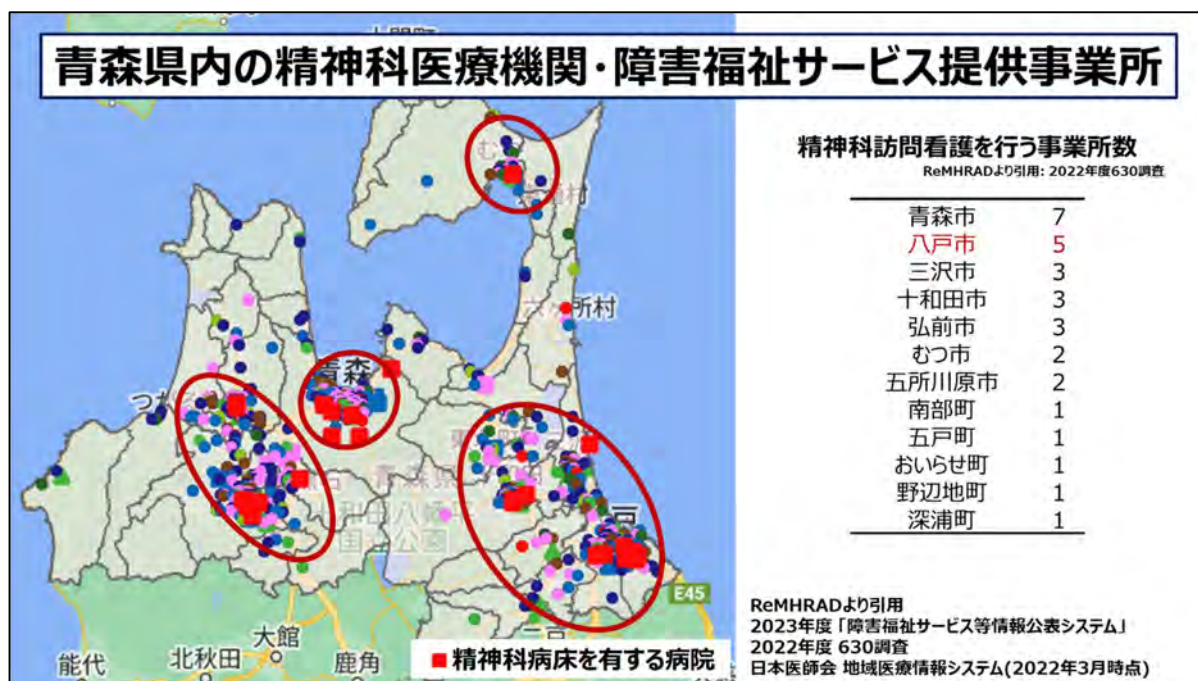
「精神科訪問看護に係る実態及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける役割に関する調査研究」(2021, 日本精神科看護協会)



しかしながら、夜間対応は看護職者の**身体的・心理的負担**となっている。

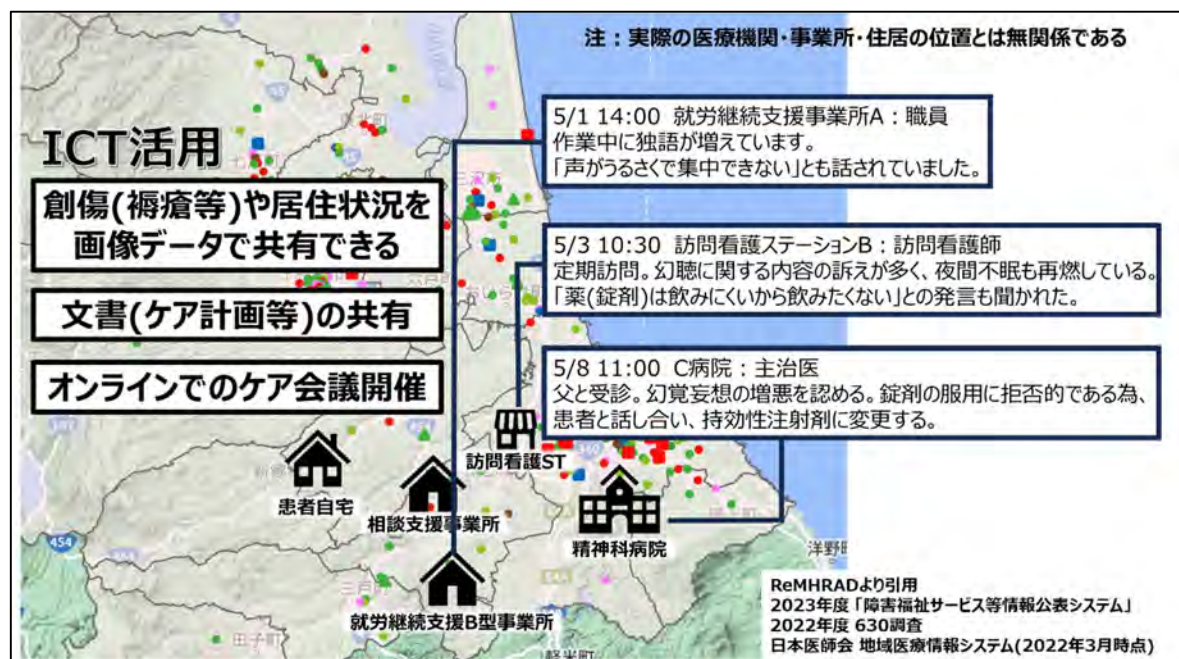
「診療報酬・介護報酬改定等に向けた訪問看護実態調査」(2024, 日本看護協会)

これからの医療は、「サービスの質向上」と「医療職者の負担軽減」の両輪で進んでいかなければならない。こうした潮流の中、ICT や AI の活用が注目されており、青森県八戸市には connect8(コネクトエイト)という ICT による情報交流コミュニティが整備されている。150 以上の事業所が登録しており、登録患者は 1,000 人以上である。精神障がいを持ちながら地域で生活をする方々の支援にも connect8 は活用されている。



従来は電話や FAX での情報交流が一般的であったが、ICT で情報交流を行うことにより、適切適時な情報共有がなされる。褥瘡や創傷のある利用者では、創部の状態を画像データで共有することが可能である。また、ケア計画等の文書もデータ共有が可能である。医療観察法対象者の支

援においては、クライシス・プランを文書ファイルとしてクラウド上で共有することで、多職種による適切適時なプランの加筆・修正が行われることになる。青森県のような各医療機関・事業所間の物理的距離が離れている地域では、こうした ICT 活用の恩恵が大きい。しかしながら、利用者本人や家族から同意が得られず ICT の導入に結びつかないことも多々ある。ICT の必要性や安全性を利用者・家族に説明するのは医療者の役割である。今後、ICT リテラシーは医療者にとって必須のスキルになると考えられる。



医療観察制度でのICT活用事例

多くの職種が支援に関わる医療観察制度ではICT活用の有用性が高い。

課題

- ✓ 個人情報・プライバシー保護(情報の機密性が高い)
医療観察法対象者であることは明記せず情報共有
- ✓ 保護観察所・保健所等の行政機関はネットワークに入れない
保護観察所等への情報提供は電話かE-mail

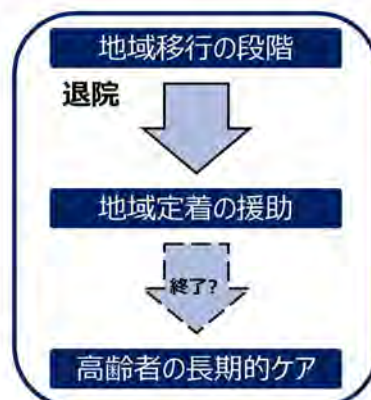
医療観察制度ゆえの制約があるのが現状…

精神科訪問看護の終了

サービス継続 or 終了の検討

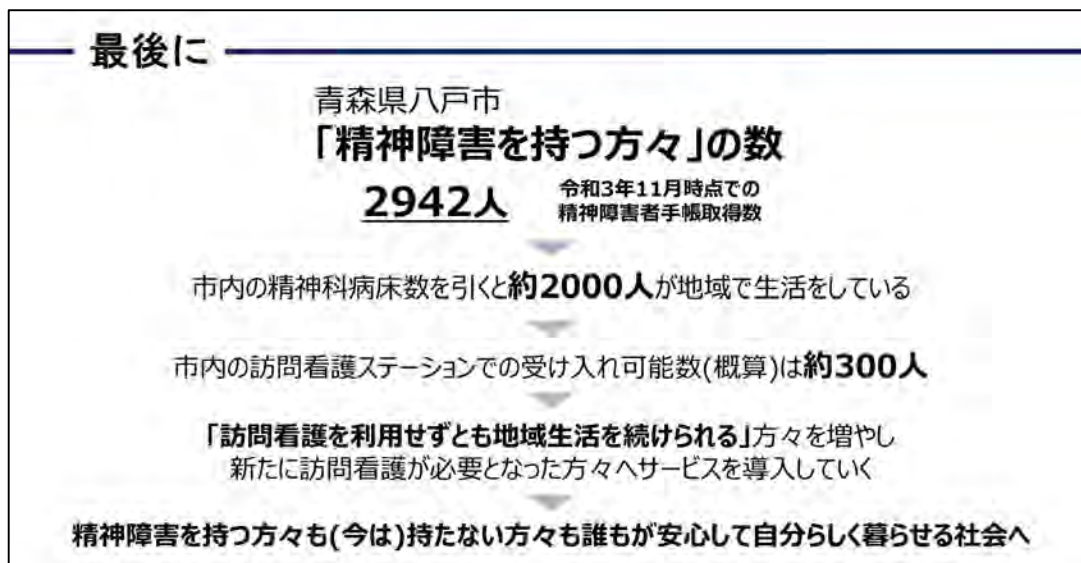
「訪問看護指示書」の有効期限が
近付いたタイミングで主治医と検討。
状況に応じて、ケア会議を開催する。

第6期障害福祉計画
平均地域生活日数の目標値
316日以上 2016年、青森県では311日



青森県では、精神科医療や障害福祉に従事するスタッフの数は減少傾向にある。医療機関や障害福祉サービス事業所等の社会資源の数(量)を増やすことには限界がある。だが、ICT の活用等による支援方法の工夫・改善によって質そのものを向上させることは可能であろう。

質の高いサービス提供によって、精神科訪問看護や障害福祉サービスを利用せずとも、通院治療を継続しながら、住み慣れた地域で生活が続けられる方々を増やし、そしてまた、新たに精神科訪問看護や障害福祉サービスが必要な方々へサービスを導入するというサイクル(社会資源の循環)が、社会資源の乏しい地方都市では特に重要であると考えられる。今後は、地方都市に限らず日本全国において、こうした社会資源の循環がより重要になってくるであろう。



- 文献 1) 「精神科訪問看護に係る実態及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける役割に関する調査研究」(2021, 日本精神科看護協会)
- 2) 「診療報酬・介護報酬改定等に向けた訪問看護実態調査」(2024, 日本看護協会)

多機能型精神科診療所の取り組み

長谷川 直実 先生

(医療法人社団ほっとステーション 大通り公園メンタルクリニック 院長)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の中、現在かかりつけ精神科医としての役割は多岐にわたり、これまで以上に多職種、関係機関と連携しながら、患者さんが希望する地域生活を実現できるよう診療にあたることが求められている。本日はわたしたち「ほっとステーション」における危機介入と地域連携について、また実践を通して見えてきた地域精神科医療の課題についても皆様と考えてみたい。

私たちが働いているほっとステーションは、多機能型精神科診療所である。多機能型精神科診療所と呼べる必須条件として窪田¹⁾は、精神科外来機能の他にデイケア等の通所サービスの実施、アウトリーチの実施、24時間の電話対応、コメディカルによる相談支援活動を行っていることをあげている。

多機能型精神科診療所の条件 I 必須条件

1. 精神科外来診療の実施
2. 精神科デイケア等の通所サービスの実施
3. 訪問看護および訪問診療もしくは往診の実施
4. 24時間電話対応(今後の予定も含む)
5. コメディカルによる相談支援活動

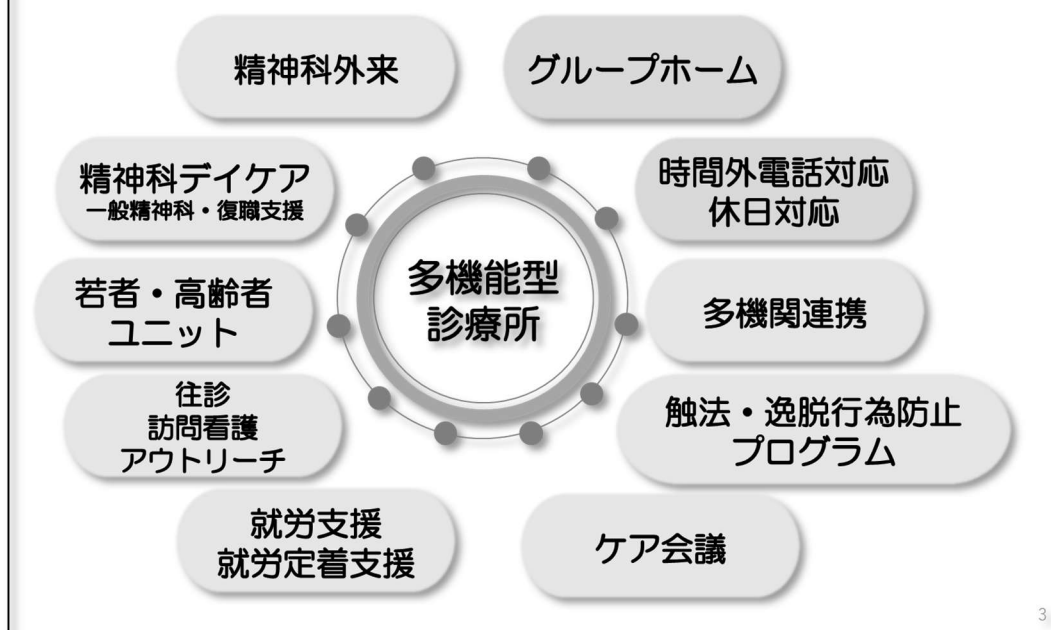
窪田彰 多機能型精神科診療所による地域作り 金剛出版, 2016

多機能型精神科診療所の条件 II 推奨項目

1. 複数医師の勤務(非常勤を含む)
 2. 在宅療養支援診療所の実施
 3. 軽い緊急時の避難に用いる入院施設もしくはグループホームがある。
 4. 自立支援事業所との密接な連携
 5. 訪問看護ステーションとの密接な連携
 6. 相談支援事業所との密接な連携
 7. 精神科ナイトケアの実施
 8. 医療観察法も指定通院医療機関の指定を受けている
 9. 就労支援活動の実施
 10. 包括的個別担当者(ケースマネージャー)がいる
- 「密接な連携」とは: 医療法人等で直接運営しているか、実施団体の運営に何らかの形(役員等)で関わっている場合を言う。

窪田彰 多機能型精神科診療所による地域作り 金剛出版, 2016

医療法人社団ほっとステーション：多機能型精神科診療所



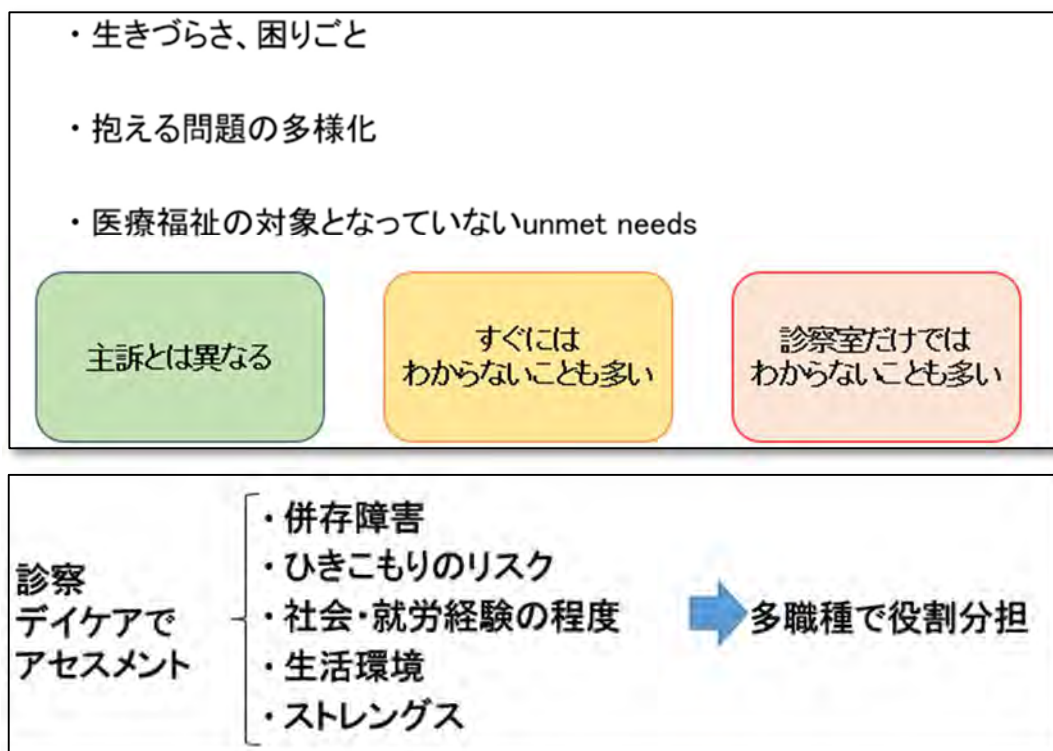
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに係る検討会報告書には、「本人の困りごと等」を外来精神医療でキャッチし、ケアマネジメントの体制の中で支援していく課題について述べられている。この地域生活の中の「困りごと」については、診察室の中だけでは解決できず、コメディカルの相談支援やアウトリーチが必要である。ほっとステーションでは、365日アウトリーチが行われている。この中で、医師が行う往診は、現在は月に2、3回程度である。

平時の対応の充実

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに係る検討会報告書より

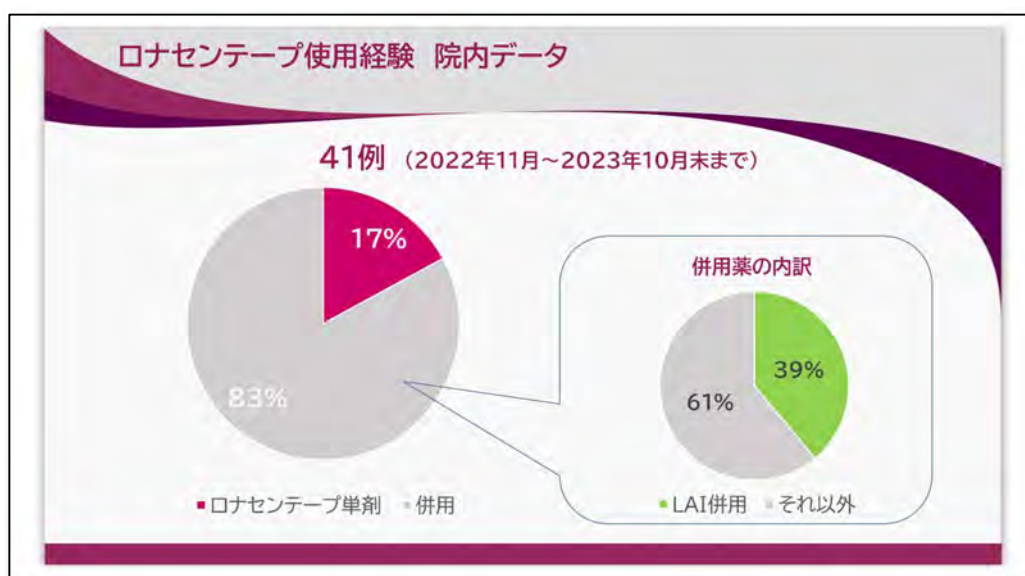
○ 精神科医療機関の外来については、精神障害を有する方等の「本人の困りごと等」に接する機会も多く、これらを契機として精神障害を有する方等とつながり続けることや、退院後支援を含め多職種チームによるケースマネジメントを行い本人の状況に応じた適切な医療を提供すること等の機能が含まれている。本人が望む場所でニーズに応じた治療が受けられる体制を構築する観点から、いわゆる「かかりつけ精神科医」機能と併せて外来機能の位置付け及び強化についても重要な課題となる。

- ・ 生活の困りごと⇒病状の悪化
- ・ 病状の悪化⇒生活の困りごとが増える
- ・ コメディカルの対応、多職種連携が危機回避につながる。



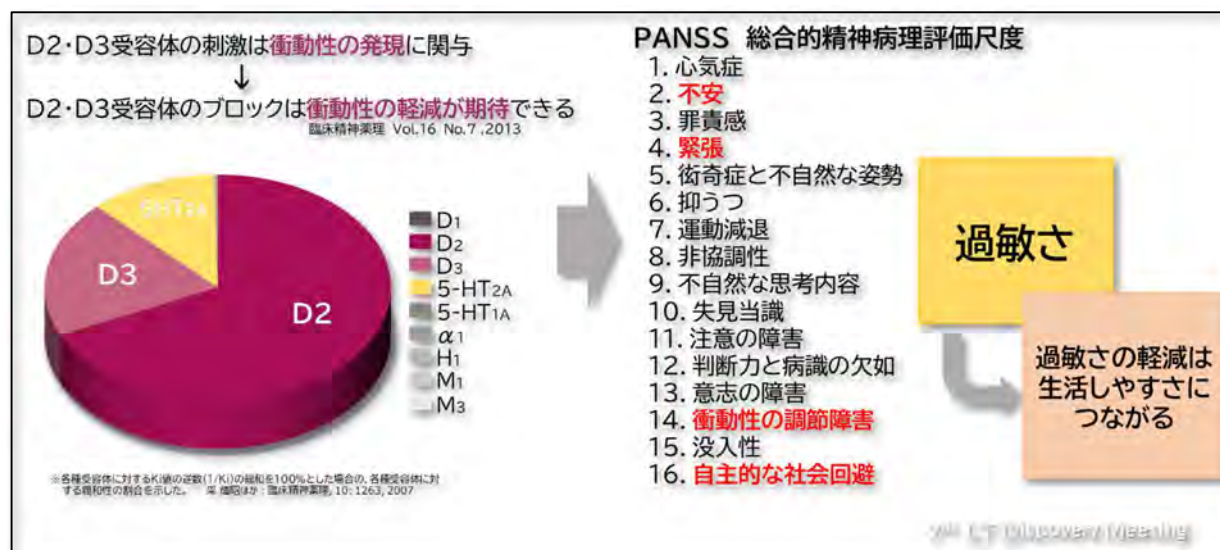
家族や保健所等から依頼があり、統合失調症の未治療や治療中断例に対して往診及び訪問看護を行うこともある。このようなケースでは、顕著な幻覚妄想があり、警戒心が強く、薬物療法を拒否することも多い。注射はもちろん、内服薬も受け入れ難い場合でも、貼布剤であるロナセンテープは勧めやすいことがある。

2022年11月から2023年10月末までの期間で、ほっとステーションでロナセンテープを処方した統合失調症41例では、ロナセンテープ単剤よりも他の抗精神病薬との併用の方が多く、更にその中ではLAIの補強療法として使用されることが多かった。しかし、ロナセンテープから薬物療法が開始もしくは再開され、その後その他の抗精神病薬が併用もしくは主剤になる事例も複数ある。



ロナセンテープの検証試験では、投与6週目でPANSS陽性尺度、陰性尺度、総合的精神病理評価尺度においてプラセボ群に対して、有意差を持って変化している。総合的精神病理評価尺度の

中の不安や緊張、衝動性の調節障害といった項目は、統合失調症の症状の基底にある過敏さが関係しているのではないかと考える。アウトリーチの場面では、過敏になっている患者さんにロナセンテープを文字通り手当てしながら、話しかけながら貼布している。精神療法的なアプローチに適した剤型であるといえる。また、ロナセンテープ（ブロナンセリン）は、ドーパミンD2、D3 受容体及びセロトニン 2A 受容体に選択的受容体親和性を有しているため、これらをブロックし、衝動性の低減が期待できるのではないかと報告されている。



大規模の多機能型精神科診療所でなくても、精神保健福祉士や看護師がいれば、時々アウトリーチは可能である。これに加えて医師が1か月に1軒でも往診の時間を持てれば、地域生活の支援体制はさらに充実する。

ちょこっとアウトリーチ

- ・ 本人の様々な困りごとをすくい上げて、対応するためには、診察室の中のやり取りだけでは効率が悪い。
- ・ 訪問看護等でその人の生活の場を訪れることで得られる情報は、その人を多面的に捉えることができ、支援の方向性の広がりを見出すことにもつながる。
- ・ 精神保健福祉士等の訪問に加えて1か月に1回、1軒でも往診の時間を持てれば、更に充実

文献 1) 窪田彰：多機能型精神科診療所の発展から（仮）地域精神保健センターへ。精神医療。87, 28－36, 2017.

Ⅲ. あとがき／賛助会員のご案内

PPST研究会ニューズレター第26号をお届けします。今回は、2024年10月19日にオンライン形式で開催されたPPST全国セミナーの2つの講演をコンパクトにまとめてご紹介しました。これまでも申し上げてきましたが、読者各位もオンライン形式にかなり慣れてきたことと推察いたします。しか

しながら、あらためて紙面でご確認いただく意義は変わらないと考えています。

種市和人先生には、「精神科医療・看護の均てん化の為にー青森県八戸市のICT活用事例ー」というタイトルで、医療法人財団青仁会 訪問看護・介護ステーション五福の所長という立場から講演いただきました。「入院医療中心から地域生活中心へ」という転換以降、アウトリーチ型医療・看護活動の重要性が認識されてきたこと、利用者が再入院することなく住み慣れた地域で生活続けられるよう、長期的な観点で計画的・継続的な看護援助を行うために、訪問看護ステーションの58.6%が営業時間外の電話対応や緊急訪問を行っており、これが看護職者に身体的・心理的負担をもたらしている現状をご説明いただきました。また「サービスの質向上」と「医療職者の負担軽減」を両輪で進めるため、ICTやAIの活用が注目されていること、青森県八戸市には「connect8（コネクトエイト）」というICTによる情報交流コミュニティが整備されていることについてもご紹介いただきました。その有用性ととも、今後、ICTリテラシーが医療者にとって必須のスキルになるとのご主張には説得力があり、時代の潮流に遅れてはいけなと強く感じさせられる内容でした。

長谷川直実先生には、「統合失調症患者さんの地域生活を支える～訪問サービスによる支援を中心に～」というタイトルで講演いただきました。医療法人社団ほっとステーション大通り公園メンタルクリニックの多機能型精神科診療所としての機能と役割についてお話しいただくとともに、診察室内だけでは解決できない地域生活における様々な「困りごと」について、コメディカルによる相談支援や365日体制のアウトリーチ活動をご説明いただきました。また、ロナセンテプの効用や使い勝手について、臨床的なご経験を交えてお話しいただきました。さらに、重装備なアウトリーチではなく、精神保健福祉士や看護師による定期的な訪問に加え、医師が1か月に1軒でも往診の時間を持てれば「ちょこっとアウトリーチ」として非常に有効であるというご示唆は、実践的で支援者の負担を軽減するアイデアとして大変参考になりました。

なお、今回お届けする内容の詳細版は、PPST研究会賛助会員に送られるPPST Bulletinとしてお届けします。このBulletinは講演内容をテープ起こし、ほぼすべてのスライドを掲載するもので、当日参加できなかった方々にも内容を生き生きと伝えるものとなっています。賛助会員（法人）には、このPPST Bulletinの無料配布に加え、PPST研究会が開催するセミナーに5人まで参加費免除で参加できる特典もございます。詳しくは、下記の賛助会員制度のご紹介をご覧ください。

次のページには賛助会員の申し込み用紙がございます。研究会ホームページのURLは <http://www.secretariat.ne.jp/ppst/> です。（PPST編集委員会 加瀬昭彦、安西信雄、丹羽真一）

PPST 研究会 賛助会員制度のご紹介

1. **目的：**PPST研究会活動の理念に賛同する全国の精神科病院・クリニック・大学等の先生方にご加入いただいて、一緒にPPST研究会の活動を進めること、そして当協会のブロック幹事になっていただいて地域のセミナーの企画・実施にご協力いただくことが目的です。
2. **賛助会員にお願いする役割と特典：**ブロック幹事として地域のセミナーの企画・実施にご協力いただく。ホームページやニューズレター等に病院紹介などの記事をご紹介いただく。PPSTニューズレター（各地のセミナー内容、新情報、病院訪問など）を受取る。貴法人に所属される職員は5人までPPST研究会セミナーへの参加費免除と致します
3. **賛助会員会費：**賛助会員（法人） 一口 年2万円、賛助会員（個人） 年1万円

PPST研究会 賛助会員申込書

☆下記の「法人」または「個人」の該当する方にご記入ください。

賛助会員(法人)申込書

入会申込日_____年_____月_____日

※貴施設名：_____

※代表者お名前：_____

※ご担当者お名前：_____フリガナ：_____

※ご担当者お役職：_____

※貴施設ご住所：(〒_____ - _____)_____

※TEL：_____※FAX：_____

※ご担当者E-mail：_____

年会費 **賛助会員(法人)** 一口 20,000円 申込み口数【 口】

※当研究会ホームページの賛助会員名簿への貴法人名の掲載【☐希望する ☐希望しない】

賛助会員(個人)申込書

入会申込日_____年_____月_____日

※お名前：_____

※フリガナ：_____

※ご所属施設：_____

※お役職：_____

※貴施設ご住所：(〒_____ - _____)_____

※TEL：_____※FAX：_____

※E-mail：_____

年会費 **賛助会員(個人)** 10,000円

※当研究会ホームページ内の賛助会員名簿へのお名前の掲載【☐希望する ☐希望しない】

申込書
送付先

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル
株式会社コンベンションリンケージ内 PPST研究会事務局 行
E-mail : ppst@c-linkage.co.jp
Fax : 03-3263-8687

★Mail または FAX で申込書が届き次第、事務局代行から振込先等をご連絡させていただきます。